

## 外男性假性半陰陽ノ一例

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/38376">http://hdl.handle.net/2297/38376</a>

十全會雜誌

（第六拾九號）

原著及實驗

●外男性假性半陰陽ノ一例

在秋田。陸軍一等軍醫 石橋 四郎 (三年卒業)

抑モ半陰陽 Hermaphroditismus トハ男女生殖器ノ両々相兼有スルモノ即チ男性生殖器ニ女性生殖器且ツ睪丸卵巢ヲ併有シ其ノ兩生殖機能完全ナルモノニシテ他人ニヨリテ妊娠シ又他人ヲ妊娠セシメ得ルモノ又自己生殖ヲ營ムモノヲ眞半性陰陽ト云フ然レドモ未ダ之ノ症例ノ報告セラレシモノナク主トシテ假半性陰陽ノミニシテ其ノ文獻報告ノ比較的少ナキモ既ニ一七六八年アルナウド氏ニヨリテ著サン其後漸次學術ノ進歩ニ伴ヒ本症ノ研究亦進歩セラル、ニ至レリ而シテポーランド、ワルシヤ、ノノイ、ゲ、バウ、エル、氏ノ分類法ヲ摘録スルニ次ノ如シ

(甲) 女性假性半陰陽

- (A) 内女性假性半陰陽
- (B) 外女性假性半陰陽
- (C) 全女性假性半陰陽

(原著及實驗)

(乙) 男性假性半陰陽

- (A) 内男性假性半陰陽
- (B) 外男性假性半陰陽
- (C) 全男性假性半陰陽

- 一、内女性假性半陰陽ハ外陰部ハ女性ニシテ内陰部ハ卵巢ハ存スルモ子宮、膈ウオルフ氏管及附屬器ハ發育不全或ハ痕跡ナリ
- 二、外女性假性半陰陽ハ陰核多少肥厚シ且ツ勃起作用ヲ有シ尿道ノ時々陰核ヲ貫クコトアリ陰唇ノ癒合陰囊狀ヲ呈シ外竇蹊輪ニ卵巢下降シ或ハ鞘狀突起ノ水腫又ハ血腫ヲ有スル場合ニ於テハ睪丸ト誤マル而シテ其ノ内生殖器發育不全ノモノ多ク又尿道及ビ膈ハ共同ノ通路ヲ有ス
- 三、全女性假性半陰陽ハ外陰部ハ男性、如ク内陰部ハミュレル氏管ノ發育不全ニシテウオルフ氏管ハ發育ス
- 四、内男性假性半陰陽ハ外陰部ハ男性ニシテ睪丸ヲ有シウオルフ氏管ハ發育不全或ハ痕跡ナルト發育不全ノミュレル Müller 管ヲ有ス膈ハ攝護腺精阜ノ部分ニ開口シ外陰部ノ陰囊ノ中央線ニ開口ス子宮ノ稍ヤ發育セルモノニ在テハ卵巢ノ部ニ睪丸ヲ有スルコトアリ或ハ又兩潜伏性睪丸タルコトアリ
- 五、外男性假性半陰陽ハ陰莖發育不全ニシテ陰核ノ如ク陰囊ハ時トシテ破裂シテ陰唇狀トナル其ノ他生殖器ハ前者ト殆ント同ジ
- 六、全男性假性半陰陽ハ睪丸存スル他ニウオルフ氏管及ビミュレル氏管

(原著及實驗)

共ニ發育不全ナルモ存シ腫ハ尿道口或ハ尿道ニ開ク(以上中外醫學新報第七百十二號拔萃)而シテ內生殖器ノ男女ニ別ル、ハ其ノ胎生初期第四週ニ於テ脊椎ノ兩側ニ發生シタル Wolff 氏体ハ胎生第一個月ニハ体中最モ大ナル臟器ナルニ漸次萎縮シ其ノ後ニ腎臟ノ前內側ニ一個ノ生殖腺及 Müller 氏管ヲ生ズ即チ泌尿器ノ前內方ニ於テ一ノ Krauphthal ヲ生ジ之ノ上皮細胞更ニ變化シテ男性ノ睪丸女性ノ卵巢ヲ形成シ原腎 Urinere、ハ男性ニアリテハ直管ハレル氏網及ビ副睪丸、女性ニテハ副卵巢卵黃體質トナリ原腎管ハ男性ハ輸精管ニ女性ハ萎縮ス然レドモ女性ニ在リテハミューレル氏管發達シ左右癒合シテ遂ニ喇叭管子宮腔ヲ形成スルニ至ル然レニ男子ニ在テハ消失ス而シテ卵巢ハ扁韌帶ノ後方ニ附着シ腹內ニ止マリ睪丸ハ即チ Humer. 造導帶ニヨリテ鼠蹊管ヲ經テ陰囊內ニ降ル而シテ胎生第十週ノ頃ニテハミューレル氏管及生殖腺ノ發育ノ方向未ダ尙不明ナリ而シテ其ノ男女外生殖器ノ發生ハ胎生ノ初期第四週ニ於テ体ノ尾端ニ泌尿生殖器併ニ腸管ノ排泄口トシテ破裂狀ノ凹陷 ナセル一穴肛 Klouke ヲ有スルノミ第六週ニ至リ一穴肛ノ周圍ニ皺襞ヲ生ズ之レ陰囊 Genitalfalte ニシテ其ノ外方ニ隆起ヲ形成ス之レ即チ陰隆起 Genitalwulst、ナリ陰囊ノ前部ニ結締織ノ増殖ニヨル隆起即チ陰丘 Genitalhöcker ヲ造ル其ノ兩側ヨリ後方ニ向ヒ皺襞延長シ而シテ其ノ下面ニ小溝ヲ生ズ之レ一穴肛ノ發育ト共ニ長大トナリシモノナリ胎生期ノ進ムニ從ヒ陰丘ハ延ビ小溝ハ益々深ク陰囊モ亦發育ス胎生ノ第三個月ノ中頃ニ至リ一穴肛內部ニ於テ陰囊ト直腸トノ間ニ中隔 Thorechalseptum、ヲ生ズ是レ次第二肥厚シテ命陰ヲ造ル茲ニ於テ生殖口ト肛門ト始メテ別ル然レドモ男女生殖器ノ外陰部ノ區別未ダ決

セザルナリ胎生第四個月ニ至リ外陰部ノ形狀漸ク差ヲ生ジ男子ハ陰丘發育著シク陰莖トナリ其ノ尖端龜頭トナル其ノ周圍ノ皮膚ノ皺襞ハ包皮ト化シ下面ノ小溝延長シ左右陰囊ノ癒合ニヨリテ茲ニ管狀ノ尿道ヲ形成シ陰隆起モ亦發育シ且ツ左右癒合シテ陰囊トナル女子ハ陰丘ノ發育緩慢ニシテ陰核トナリ其ノ下面ノ小溝ハ陰囊ヲ以テ圍繞セラレ腫ノ前庭トナリ陰囊ハ小陰唇ニ陰隆起ハ大陰唇ヲ形成ス故ニ男女生殖器ノ外陰部ニ區別ヲ生ズルハ男子ハ女子ノ左右陰唇癒合ニヨリ尿道管トナリ大陰唇癒合シテ陰囊トナリシモノ其ノ陰核ト陰莖トハ元同一物タリシモ前者ハ發育緩慢ニシテ後者ハ長足ノ發育ヲ逐ゲシモノナリ茲ニ於テ是等其ノ發育ノ中途斷絶シ癒合ス可キ部ノ破裂ヲ貽シ內部生殖器例ヘハ睪丸ノ腹輪內ニ止マレルモノ等ニ在テハ男性ニシテ殆ント外形女性タルガ如ク或ハ過大ノ増殖ヲ逐ゲ或ハ癒合ス可カラザル部ニ癒合ヲ來シ加之內部生殖器卵巢ノ腹輪外ニ下降セルモノ、如キ女性ニシテ外形男性タルガ如キモノアリ是等假性半陰陽ニシテ兩性ノ併セ發育セルモノ即チ眞性半陰陽ナリ而シテ是等半陰陽者ノ精神狀態ハ又自ラ其ノ生殖器ノ發育狀態ニ伴フ者ニシテ元ヨリ精神狀態ノ男女ノ別ハ直接此ヲ知ルコトハ得ザルモ身体各部ノ構造血色言語行爲等ニヨリテ各抽象的ニ特異點ヲ有ス殊ニ智力即チ認識、記憶、詭計、想像、概念、抽象力、判斷力、推理力及倫理的行爲等ノ内ニ於テ高尚ナル睿智ヲ要スル判斷力、推理力等ノ優劣ヲ見ル其ノ女性ノ男性ニ比シ注意散漫ニシテ且ツ環境性ナリ是レ實ニ精神作用上反對的ノ表象的動作ニシテ太古ノ生存競争甚ダシカリシ當時ニ於テハ吾人ノ五官器ハ唯一

ノ自己保存機能ニシテ從テ殊ニ視聽嗅ノ三覺ノ特ニ發達セルモノニシテ現今尙野蠻人中ニ於テ遺物的ノ是等發育ヲ有スルモノアリ即チ嗅覺ノ強キモノ聽覺ノ強キモノ且ツ耳殼ヲ任意的ニ運動セシメ得ルモノ等皆彼等現今猶周圍ノ狀況ニヨリ自己保存上必要ナルニヨルモノニシテ是等視聽嗅ノ三覺ヲ外界ニ對シテ直接作用シテ其ノ機能ノ活潑銳敏ナラシムル働作ハ既ニ外界諸物ニ對シテ生存競爭ヲ行フノ必要ナキ今日ニ於テハ退步セル亦當然ト謂フ可キナリ然ルニ同程度ノ一種間ニ於テ其ノ是レ等機能ノ比較的能ク發育セルモノ即チ些少ノ事ニ注意ノ及ブ者ト一方正ナル判斷力推理力等尙尙ニシテ復雜ナル主觀的作用ノ發達セルモノト優劣イヅレゾヤ勿論後者ノ優レルハ謂フチ待ズ即チ前者ハ女性ニ相當シ後者ハ男性ニ相當ス而シテ是等精神狀態ノ面性ノ差ハ体格ノ各性ニ適合スル者ナリ從來ノ報告セラレシ半陰陽ノ例ニ於テ男性ニシテ女性ニ類スルモノハ其ノ精神狀態女性ニ類シ或ハ全ク女性ナリ又女性ニシテ男性ニ類スルモノハ其ノ精神狀態亦男性ニ類スルカ或ハ全ク男性ト云フチ得ルナリ

次ニ半陰陽ノ家族ノ關係ハ血族の二大ナル關係ヲ有シスタアレー氏ハ三姉妹共ニ子宮ヲ缺キ其ノ母ノ一姉ハ無月經者又三名ノ伯母ハ不妊者ナリト又フヒリツプ氏ハ二姉妹ノ子宮ヲ缺クモノヲ實驗シ齋藤鯖湖氏亦姉ノ子宮缺如妹ノ子宮、膈、卵巢ノ缺ケル實驗ヲ報告セラル余ノ獲タル實驗亦之レニ類ス只男性タルノ異ナルノミ而シテ本邦ニ於テ明治二十九年七月以降半陰陽ノ報告セラレシ者實ニ些少ニシテ（明治二十九年以前ノ文獻ニ就テハ調査ヲ缺ク加之調査材料タル「リテラツール」少ナキヲ以テ正確ヲ保シ難キハ誠ニ遺憾トスル所ナリ）實ニ左ノ數例ヲ算スルノミ

（原著及實驗）

年次	症例	報告題名	報告者氏名	報告雜誌及照會雜誌（括弧内）
二十九年七月	二	生殖器ノ先天畸形ニ就テ	齋藤鯖湖氏	中外醫事新報第三九一號
三十二年四月	二	假性半陰陽體	山田謙次氏	醫事新聞第五七二號
三十三年八月	一	子宮缺如ノ一例	松井森之助氏	中外醫事新報第四八九號
三十五年四月	一	半陰陽ノ診斷ニ就テ	田中祐吉氏	大阪醫學會雜誌第一卷第七第八號、中外醫事新報第五二九號
三十六年三月	一	假性半陰陽體	山田謙次氏 高口安太郎氏	中外醫事新報第五四八號
三十六年九月	一	男性半陰陽ニ就テ	多々良椋庵氏	靜岡醫學會々報第六號（中外醫事新報第五六四號）
三十九年三月	一	半陰陽體ノ實驗	夜久峰太郎氏	中外醫事新報第六二三號
四十年四月	一	半陰陽ノ一例	田中 收氏	第八回日本外科學會（日本外科學會雜誌第八回第二號中外醫事新報第六五二號） 北海醫報第八卷第三號（中外醫事新報第六八九號）
四十一年	一	外性男性半陰陽ノ一例	關場不二彦氏	（東京醫事雜誌第一七號） （東京醫事雜誌第一七號）
四十三年七月	一	男性假性半陰陽ノ一例ニ就テ	黒田治太郎氏	（東京醫事雜誌第一七號） （東京醫事雜誌第一七號）

以上十氏十二例ニシテ其ノ他松井氏ノ報告中ニ左記ノ二氏ノ報告アリト云フ

子宮缺如二例 白井太一郎氏（東京醫事新誌第一二二三號）

(原著及實驗)

子宮缺如一例 秋元洗二氏 (東京醫事新誌第一二二二號)

即チ之レヲ加ヘ十五例アルノミナリ而シテ本年秋田縣隊區徵兵検査執行中其ノ一例ヲ獲タリ依テ本邦ノ報告例ニ其ノ一ツ追加セントス本例ニ於テハ尙實兄一名モ亦半陰陽ナリト云フ之レ余ハ實地検査セザルモ同町人ノ一般ニ知悉シ居ル處ニシテ實弟ニ關シテハ未ダ知レル人ナカリシモ兄ノ不具者タル故ヲ以テ弟モ亦定メテ左アランカト推シ居リタリシニ果シテ誤ラサリシト語リ居リシニヨリ眞偽勿論確實ナラザルモ茲ニ其ノ言ヲ附記シ參考ニ供ス

而シテ本年壯丁及諸志願者ニシテ受検査者實ニ五三二一名ニ對シ一名ノ本例ヲ見ル即チ〇、一八八〇/〇〇ニ當ル先ニ明治三十八年鯖江聯隊區ニ於ケル徵兵検査施行セル際ニ於テハ一例ニモ遭遇セザリシ

實驗例

秋田縣大曲町大曲丁五百六十七番地

高橋政〇郎

明治二十四年生

血族的關係 父母健存ニシテ家、車夫ヲ業トス畸形等ナシ(父母ノ酒量等ニ關シ確メザリシ)異母兄一名ヲ有シ健存(第一子)實兄(第二子)及本壯丁(第三子)共ニ車夫ヲ業トス第二第三子ハ後妻ノ出ニシテ第二子モ亦半陰陽ノ著明ナルモノナリト聞ク其他内外戚屬ニ未ダ畸形兒ヲ出シタルコトナシト云フ

既往症 本壯丁ハ幼時ヨリ陰部ノ畸形アルニ不係既ニ男性トシテ取扱ハン居リシモノナリ之レ偏側辜丸ノ下降シアルガ爲メナリ生來健全管テ著患ニ

罹リシコトナク全身一般ノ發育長ナリシ

現症 身長五尺四寸二分体重拾四貫四百匁ニシテ体格榮養共ニ佳良骨格一般ニ男性ナルモ性格ハ溫順ニシテ女子ニ近ク聲音及喉頭隆起男子ト異ナルナク左右乳房ハ發育シテ其ノ膨隆ノ程度十七八才ノ處女ノ乳房ニ於ケルガ如ク乳腺モ亦發シ示指頭大ノ塊狀ヲナセル者數個ヲ觸知ス然レドモ乳頭ハ全ク缺如シ只乳暈ヲ胎スノミ副乳ハ認メズ骨盤ハ男性ト等シク陰毛ハ中等量ニ存ス外陰部ハ一見女子ニ類ス唯右辜丸下降ニヨリテ疑心ニ超スノミ而シテ之レヲ詳細ニ檢スルニ先ヅ左辜丸ハ腹輪内ニ止マリテ下降セズ(未ダ管テ疼痛ヲ發セシ事無シ)(右辜丸ハ下降シテ大陰唇狀ニ破裂セル陰囊内ニ在テ大サ雀卵大副辜丸モ亦共ニ觸知スルコトヲ得陰囊ハ會陰縫合部ノ連續部三仙智迷突兒斗ハ癒合シ夫レヨリ上方ニ向テ破裂シ左右陰囊皮膚皺裂ハ恰モ大陰唇ノ如クニナリ只其ノ右側ノ皮下ニ前記ノ如ク辜丸ヲ有スルニヨリ膨隆ス而シテ之ノ破裂ハ耻骨縫際ノ下部ニ達シ之レヲ左右ニ睜開スルニ小陰唇ニ相當スル部ナク内部一般ニ粘膜炎狀ニシテ濕潤ス然レドモ臈口ヲ缺ク而シテ之ノ破裂内部ノ底ノ上三分ノ一部ニ陰核ノ如ク大サ豌豆大ノ陰莖ヲ有シ前記皮膚破裂ニヨリ皺裂間ニ陰蔽セラレテ存シ圓形ニシテ其ノ中央ノ尖端部ニ米粒大ヨリ稍ヤ小ナル尿道口及生殖管口ヲ有ス然レドモ陰莖海綿體ハ缺損ス故ニ勃超性ヲ缺ク且ツ從來色情觀念喚起セラレタルコト無シト云フ。

而シテ直腸雙合診ヲ缺クト雖子宮卵巢ニ關シテハ其ノ存在ヲ認メ難ク以上ノ諸症ニヨリ即チ是レ外男性假性半陰陽ニ相當スルモノニシテ其ノ精神狀態溫順女性ニ近似スルモ猶働作職業其他生活狀態ハ男性タルヲ失ナハサル

モノナリ

(因ニ謂フ前臍位轉錯症ノ一例ニ就テノ記事中檢丁數五三二三名トセシハ誤リニシテ五三二一名ナリ茲ニ訂正ス)

●米粉榮養兒ニ來ル病的變狀ニ就テ

岡本京太郎

私が只今御話致ソト思フノハ、摺粉或ハ重湯或ハ「オネバ」デ以テ養ハル、哺乳兒ニ現ハレル一種ノ病的變狀デアリマス

抑々含水炭素特ニ穀類ノ粉汁ヤ其ノ煎汁ヤ又ハ其煮詰タ粘液ヲ小兒ノ榮養ニ用ユルコトハ、以前ハ殆ド禁忌ノ様ニ見做シテ居リマシタガ、近來牛乳

ナドテ十分發育セズ、或ハ爲メニ或ル病變例之バ *Kindertrophie* ナドヲ

起シタモノヤ、或ハ其ノ他ノ消化障礙ニ罹ルモノニ、牛乳ニ此ノ穀粉即チ

*Mehl* ナ加ヘテ與フレバ著シキ効能ガアルノヲ發見シテ以來、西洋デモ之

ガ人工榮養ノ一要素トシテ盛ニ用キラレテ居リ、遂ニ之ガ爲ニ一種特異ノ病氣力起ルノニ氣ガ付キ、之ヲ *Ozerny u. Keller* 氏ハ *Mehlnährsüden*

ト名ケテ居リマス

我國ニテハ昔カラ米ノ摺粉ナドテ小兒ヲ養育スルモノガ澤山アリマスガ、

之ガ爲ニ一種ノ病變ガ現ハル、コレヲ始メテ報告シタノハ京都ノ三宅宗淳

君デ、今ヨリ數年前ノコトデス、夫カラ唐澤、豊福、長田、本莊、葦科ナ

ドノ諸君ガ報告ナサレテアリマスガ、或ハ之ヲ「乳兒脚氣類似症」ト題シマシタリ、或ハ「米粉ニヨル一種ノヂスベプシー」ト稱ヘタリ、或ハ「メー

ネールシヤデン」ト見做シタリシテ説ガ一致シテ居リマセヌ

最モ西洋デモ之チ一種ノ獨立シタ病氣ト見做スコトヲ肯セヌ學者モ多イノデ、單ニ消化器病者クハ榮養病ノ原因ノ一ニ算ヘテ、特ニ之チ一病トシテ

記載セヌ書籍モ少クハアリマセヌガ、我國ノハ大抵一種特異ノ病氣トスルコトニハ異論ガナイ様デアリマス、唯ダ之ヲ *Ozerny* 氏等ノ云フ *Mehlnährsüden*

ト同シモノト見做スノト、之ト異ツタモノト信ズルニ派ガアルノデ、乙ノ論者ハ多クハ症狀ガ乳兒脚氣ニ似テ居ル所カラ、脚氣ト米ト

ノ關係ヲ連想シテ哺乳兒ノ脚氣デアアルマイカト疑テ居ル様ニ見ヘマス

兎モ角、穀粉ノ榮養ニヨリテ哺乳兒ニ或ル病變ノ來ルコトハ確デアリマスガ、穀粉ト申シテモ色々種類ガアリマスシ、又調理ニモ種々ノ方法ガアリ

マスシ、分量ニモ差違ガ出來マスシ、其他子供ノ年齢及個人性 (*Individualität*) ナドノ變狀ガアリマスルカラ、甚ダ複雑シテ參リマシテ、爲メニ

起ル病變ハ果シテ一種ノモノデアアルカ、或ハ多種ノモノデアアルカサハ輕々ニ斷定スルコトノ出來ヌモノデアアルカラ、況ンヤ私等ノ實驗スルモノハ果

シテ「メーネールシヤデン」デアアルカ哺乳兒ノ脚氣デアアルカ乃至ハ一種ノ「ヂスベプシー」ト稱スベキモノデアアルカ、今後十分ノ研究ヲ積ダナラデ

ハ俄ニ判定スベキモノデナイト信ジマスル故ニ、演題ハ只漠然ト「米粉榮養兒ニ來ル病的變狀」ト致シタ譯デアリマスガ、勿論其病變ハ米粉榮養ニ

由來スル特異ノモノト信ズルノデアリマス、摺テ私ノ實驗ヲ申シ上ルニ先チ、西洋ニ所謂 *Mehlnährsüden* トハ如何ナル病變ヲ云フノデアアルカ、

又日本ノ報告ニアル病變ハ「ド」云フ風ノモノデアアルカヲ御話シテ、比較シテ見ルノガ必要デアアロト思ヒマス